CB750 ZERO Limited Edition. Ti FULL EXHAUST SYSTEM

http://www.moriwaki.co.jp

BLUE Ver.

長年愛された名車CB750。
その名車にモリワキが提案するZERO Limited Edition.
エキゾーストの素材はチタンパイプを採用し、従来の性能を確保しながら軽量化に貢献。サイレンサーのカラーリングは、モリワキオリジナルカラー/アノダイズドと、NEWカラーになるBLUEの2種類をラインナップ。エンブレムも「CB750」の名を施したLimited versionとしている。

CB750はZERO Limited Edition.と出会い
真の名車に生まれ変わる。

ANO Ver.

PRODUCT	PART No.	JANコード	価格	価格（税込）	PIPE	SILNCER	dB
ZERO Ti BLUE	01810-J9165-00	4527350124553	150,000-	157,500-	Ti	Ti	89
ZERO Ti ANO	01810-J3165-00	4527350124546	150,000-	157,500-	Ti	Ti	89

株式会社モリワキエンジニアリング 〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉6656-5 電話:059-370-0090 FAX:059-370-0152

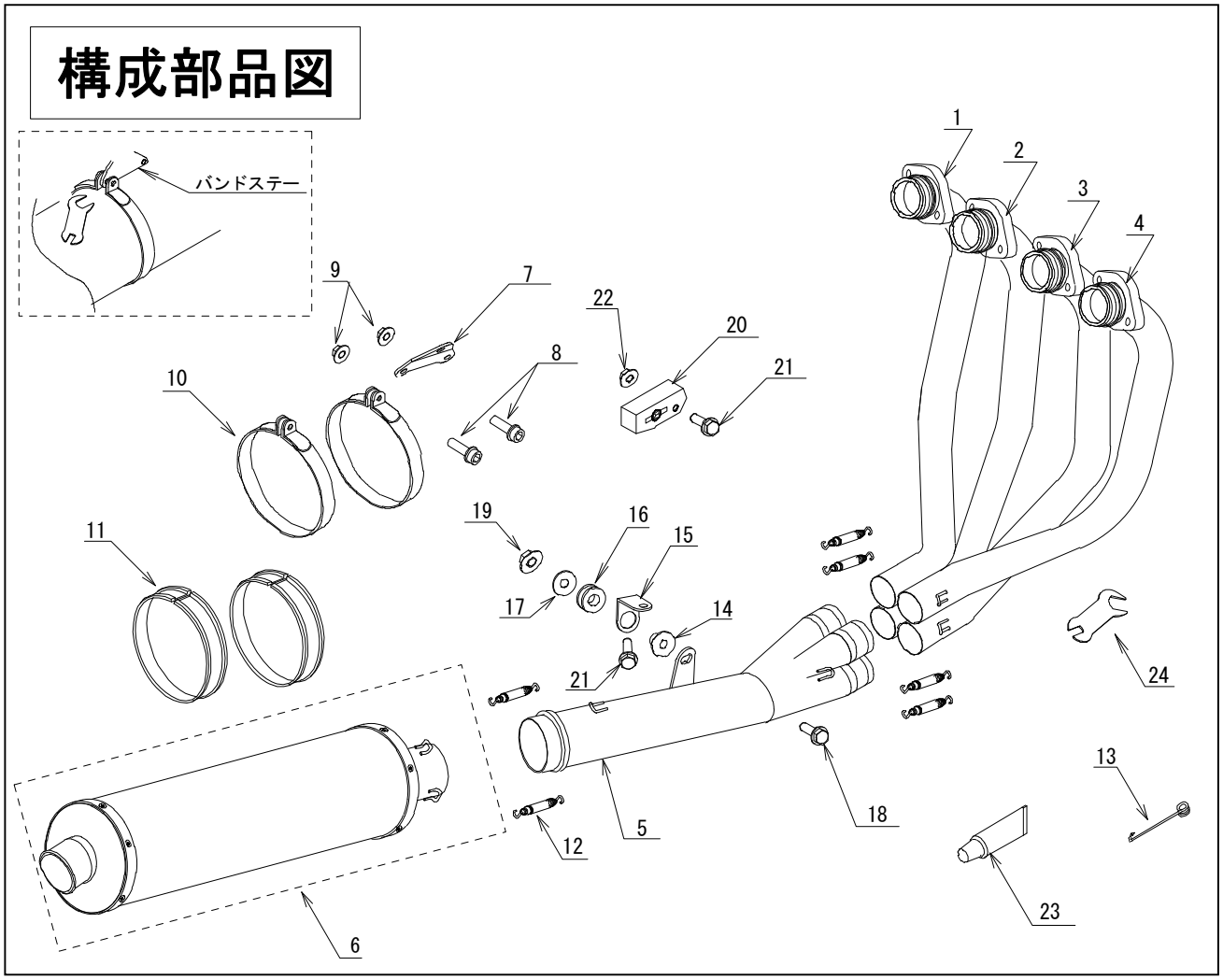
MORIWAKI ENGINEERING

MORIWAKI ZERO ANO/BLUE Limited Edition

ホンダ　ＣＢ７５０（ＲＣ４２）
取扱説明書

01810-J3165-00/01810-J9165-00

作業される前に必ずお読み下さい



【製品名】CB750 ZERO ANO/BLUE Limited Edition

【仕様】《適応車種》 車種名 CB750

年式 １９９２年型～

《キャブレター》 スタンダードキャブレター

《その他》 装着のままでオイル、オイルフィルター交換可能

⚠注意事項

① 作業する時は、けが、やけど防止のため、軍手を着用してください。
② マフラーは非常に高温になります。停車時には廻りに子供が遊んでいる場所、狭い場所で人が触れないように十分に気を配って下さい。
③ 作業するときエンジンを十分冷ましてからおこなってください。火傷する恐れがあります。
④ エンジンを始動させる場合は、換気の良い場所でおこなって下さい。
⑤ マフラー取り付け時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けを十分確認して下さい。またマフラーが各部と干渉していないか確認して下さい。
⑥ 走行中に振動によりボルト類が緩むことがありますので、必要に応じて増し締めを行って下さい。特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
⑦ 本製品は、スタンダード車両を対象としたマフラーです。車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着出来ない場合があります。不正な改造によるマフラー破損等の返品はお受けしておりませんのでご了承下さい。

【パーツ一覧】

No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)	No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)
1	18110-J3165-00	ﾌﾛﾝﾄﾊﾟｲﾌﾟ #1	1	¥18,900	14	0312-11250-F010	ｸﾞﾛﾒｯﾄｶﾗｰ	1	¥336
2	18120-J3165-00	ﾌﾛﾝﾄﾊﾟｲﾌﾟ #2	1	¥18,900	15	18240-L2165-00	ﾃｰﾙﾊﾟｲﾌﾟｻﾌﾞｽﾃｰ	1	¥1,103
3	18130-J3165-00	ﾌﾛﾝﾄﾊﾟｲﾌﾟ #3	1	¥18,900	16	0312-17250-DR00	ｸﾞﾛﾒｯﾄ	1	¥294
4	18140-J3165-00	ﾌﾛﾝﾄﾊﾟｲﾌﾟ #4	1	¥18,900	17	990002-08000	ﾜｯｼｬｰ 8mm	1	¥189
5	18210-J3165-00	ﾃｰﾙﾊﾟｲﾌﾟ Assy	1	¥47,250	18	1700-080300-410	ﾌﾗﾝｼﾞﾎﾞﾙﾄ 8×30	1	¥263
6	18910-J3165-00	ｻｲﾚﾝｻｰ(ANO)	1	¥60,900	19	2100-080000-010	ﾌﾗﾝｼﾞﾅｯﾄ 8mm	1	¥105
	18910-J9165-00	ｻｲﾚﾝｻｰ(BLUE)	1	¥60,900	20	50560-401A7-00	ｽﾀﾝﾄﾞｽﾄｯﾊﾟｰ	1	¥2,310
7	18940-L2165-00	ﾊﾞﾝﾄﾞｽﾃｰ	1	¥998	21	95701-1002000	ﾌﾗﾝｼﾞﾎﾞﾙﾄ 10×20	2	¥252
8	1261-060200-210	ﾌﾗﾝｼﾞｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ 6×20	2	¥74	22	984010-10000	ﾌﾗﾝｼﾞﾅｯﾄ10mm	1	¥105
9	2100-060000-010	ﾌﾗﾝｼﾞﾅｯﾄ 6mm	2	¥105	23	860-806-0600	ME30(ｼｰﾙﾎﾞﾝﾄﾞ)	1	¥630
10	18931-L3167-00	ｻｲﾚﾝｻｰﾊﾞﾝﾄﾞ	2	¥1,260	24	3111-00612-0400	ﾊﾞﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ	1	¥189
11	A00BR999-1190	ﾊﾞﾝﾄﾞﾗﾊﾞｰ	2	¥525	25	00719221	JMCAｶｰﾄﾞ	1	
12	0A02-08709-KK21	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾛﾝｸﾞ	6	¥567			保証書	1	
13	3A32-00000-00T0	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾌﾟﾗｰ	1	¥210					

【準備物】

〈工具〉 ８ｍｍメガネｏｒスパナ １本
１０ｍｍメガネｏｒスパナ １本
１２ｍｍメガネｏｒスパナ ２本
１４ｍｍメガネｏｒスパナ ２本
４、５ｍｍヘキサゴンレンチ 各１本
トルクレンチ、プラスチックハンマー

〈その他〉 軍手、脱脂洗浄剤、ジャッキ

※マフラー交換時には、できるだけエキゾーストガスケットの交換をお勧めします。
ホンダ純正部品 １８２９１－ＭＷ３－６００

【作業行程】

《1．スタンダードマフラーの取り外し》

① 作業するときは、なるべく軍手を着用してください。
② Ｒ、Ｌエキゾーストマフラーを連結しているマフラーバンドのボルトを緩めます。（図1）
③ エンジン下部にあるフランジボルト８×４５、フランジナット８mmを外します。（図1）
④ センターマフラーステーをエンジンから外します。
※ 年式によっては、センターマフラーステーを使用しない機種があります。
⑤ マフラーの下に自動車等で使用するジャッキを置きます。
※ スタンダードマフラー（以下ＳＴＤマフラー）は、重量が重いのでジャッキを置き、ＳＴＤマフラーを支えます。
⑥ ＳＴＤマフラーのサイレンサーステー（左右タンデムステップ部に固定）のスペシャルフランジボルト１０×５０とフランジナット１０mmを緩めます。（図1）
（尚、作業をしやすくする為にフランジボルトは掛けたままにしてください）
⑦ エキゾーストフランジ（以下ＥＸ.フランジ）を止めているキャップナット７mm×８本を外します。（図1）
⑧ １．⑥で緩めたボルトを抜き、ジャッキを徐々に下ろしてマフラーＣＯＭＰを車体から外します。（図1）
※ ＳＴＤマフラーは、重量があります。ＳＴＤマフラーで指などを挟まないように注意してください。
※ ＥＸ.フランジナット７mm８個、フランジボルト１０×５０ １本、ナット１０mm １個、ワッシャー １枚は後で使用します。
⑨ 新品のエキゾーストガスケットをお持ちの方は、古いガスケットをきれいに取り除きます。
※ 取り残しがありますと排気漏れを起こす可能性があります。
⑩ Ｒ．エキゾーストマフラーに付いているスタンドストッパラバーを取り外します。

《2．取り付け準備》

① 付属のグロメットをサブステーに入れます。（図2）
② ①で組んだサブステーを付属のフランジボルト１０×２０で仮止めします。（図2）
③ センタースタンドのスプリングをかける向きを車体外側（純正状態）から、車体内側につけかえます。ＳＴＤスタンドストッパラバーを付属のスタンドストッパーに付け、スタンドストッパーを車体に取り付けます。（図６）
④ 付属のサイレンサーバンドとバンドラバーを固定します。両面テープ等で貼り付けると作業性が上がります。
⑤ テールパイプジョイント部、サイレンサーのジョイントカラー内面に付属のＭＥ３０を薄く塗布します。（図３，４）

《3．モリワキマフラーの取り付け》

① 新品のエキゾーストガスケットをエキゾーストポートに差し込みます。
※ ガスケットにグリスを塗ると落下しにくくなり付け易くなります。
② Ｆ．パイプをエキゾーストポートに差し込み、ＳＴＤのキャップナット７mmで仮止めします。
※ Ｆ．パイプに貼ってある番号をよく確認して取り付けて下さい。
※ シリンダー番号は、構成部品図（ページ１／５）を参考にして下さい。

図 1

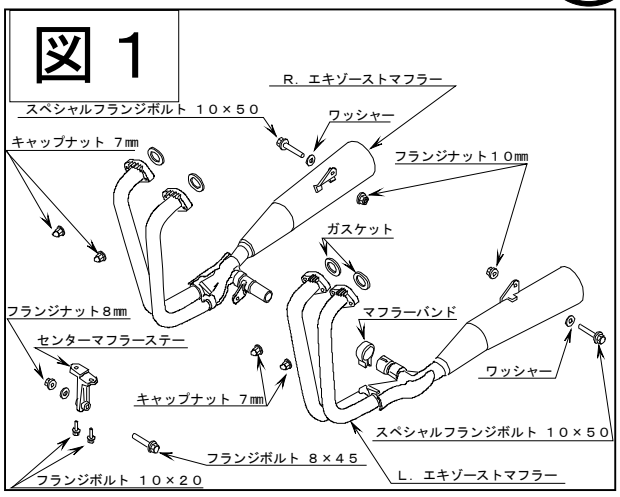
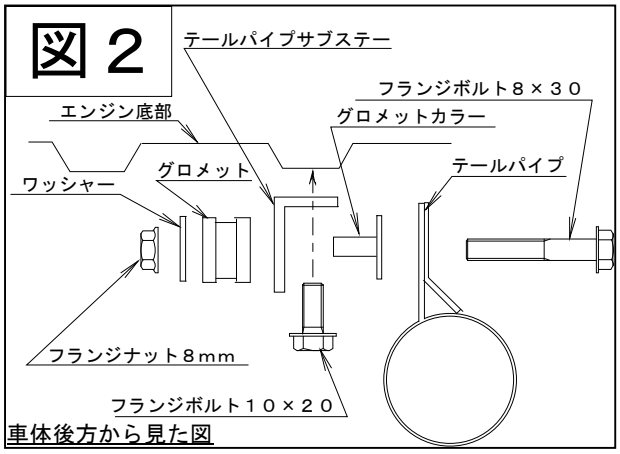
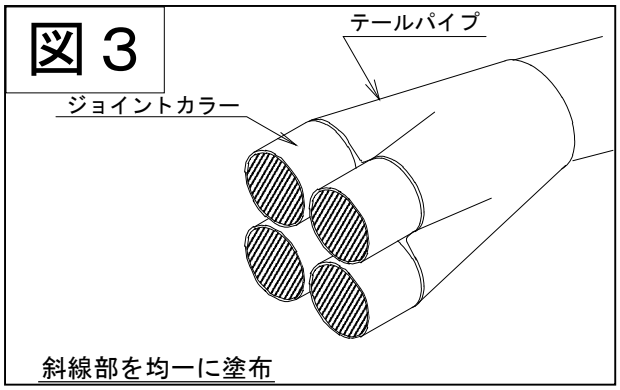


図 2



車体後方から見た図

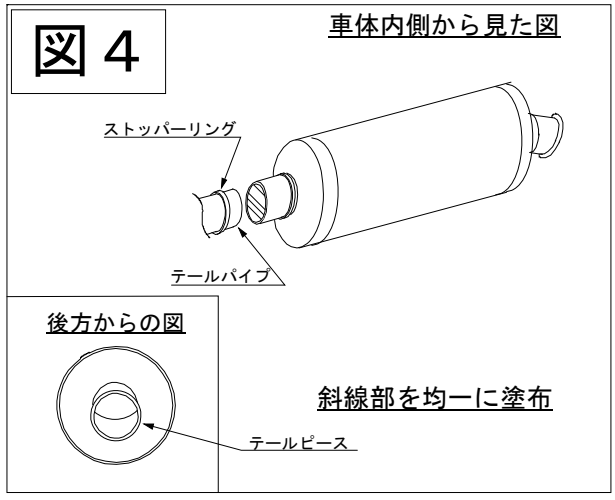
図 3



斜線部を均一に塗布

図 4

車体内側から見た図

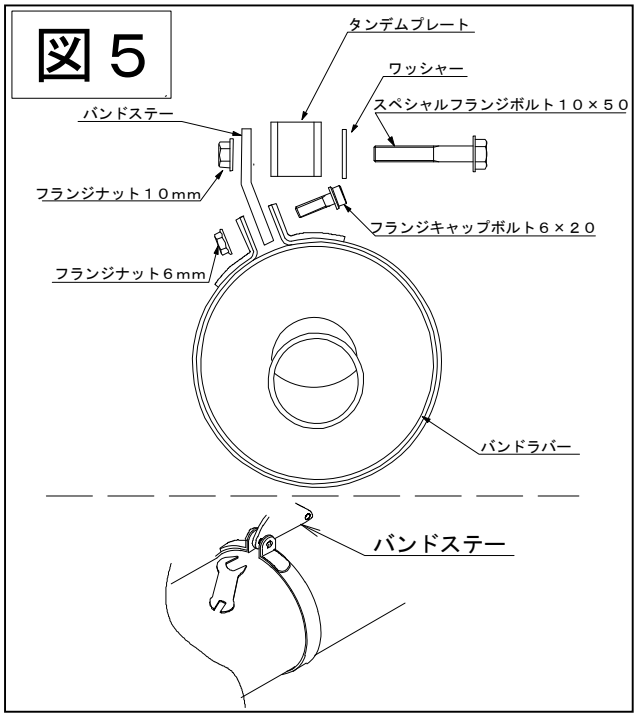


斜線部を均一に塗布

③ テールパイプをＦ.パイプに差し込み、テールパイプをフランジボルト８×３０、ナット、ワッシャーを使って、車体下部のマフラー取り付け位置に仮組みします。

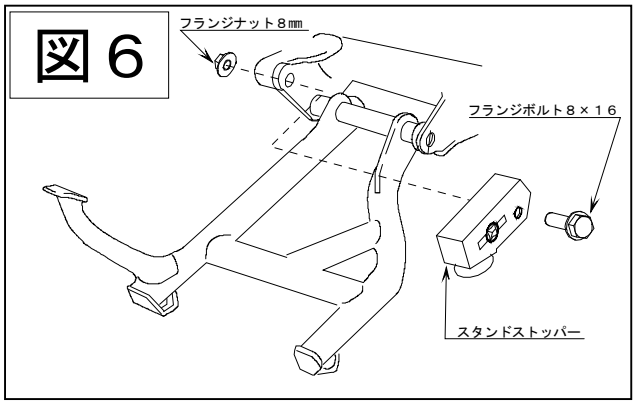
⑤ サイレンサーをテールパイプのストッパーリングに完全に当たるまで差し込みます。 （図4）
※ サイレンサーのテールキャップの向きでサイレンサーの位置を決定して下さい。
※ サイレンサーが固定されたか確認して下さい。

⑥ 付属のスプリングプラーを使ってフロントパイプとテールパイプ、テールパイプとサイレンサーＡｓｓｙのスプリングフックにスプリングを取り付けます。 （構成部品図）
⑦ サイレンサーＡｓｓｙにサイレンサーバンドを通し、バンドステーをフランジキャップボルト６×２０、フランジナット６mmで仮組みします。 （図５）この時、付属のクリップでサイレンサーバンドを挟んで組むと作業がしやすくなります。 （バンドは、２本平行に取り付けます。）
⑧ バンドステーをタンデムプレートにＳＴＤスペシャルフランジボルト１０×５０、フランジナット１０mm、ワッシャーを使って仮止めします。 （図５）



⑨ マフラー各部が他の部品と干渉していないか確認します。
※ サイレンサーとリヤショックの干渉に注意して下さい。
※ センタースタンドで車体を立てたときに、センタースタンドのスプリングとパイプとの干渉がないか注意してください。
⑩ 本締め順序は、
- ＥＸ.フランジ（左右均等に締めて下さい。）
- エンジンとサブステー
- サブステーとテールパイプステー
- バンドステーとサイレンサーバンド
- バンドステーとタンデムステップ

※ ＥＸ.フランジを傾いたまま締めると排気漏れやフランジ取り付けボルトが破損する恐れがあります。



推奨トルク	N-m（ｋｇｆ・m）
ＥＸ.フランジナット（７mm）	１２（１．２）
フランジキャップボルト６×２０	１０（１．０）
フランジボルト８×３０	２６（２．６）
フランジボルト１０×２０	３５（３．５）
スペシャルフランジボルト１０×５０	３５（３．５）

⑫ 本締めが終了しましたらマフラーに付いた汚れをしっかり脱脂洗浄剤で拭き取って下さい。
※ 油分が付いたままマフラーが焼けると焼け色にむらができます。

《３．確認》

●エンジン始動前の確認

□車体後部を上下に揺らして、各部干渉がないか。
□各ボルト、ナットの締め忘れがないか。
□サイレンサーのエンブレム、JMCA プレートにビニールが貼ってある場合は剥がして下さい。

●エンジン始動直後の確認（エンジンの熱に十分注意して下さい。）

□ＥＸ.フランジ部、Ｆ.パイプジョイント部、サイレンサージョイント部から排気漏れがないか。

●走行後の確認（エンジンの熱が十分下がってから作業して下さい。）

□各部ボルト、ナットの緩みがないか。

※サイレンサー下部に水抜き穴があり水蒸気等が出る場合がありますが性能上問題ありません。

【セッティングについて】

モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態で性能が発揮されるように設計されています。
したがってマフラー装着にともなうキャブレターなどのセッティングの必要はありません。
もしマフラー交換に伴う性能悪化が見られるようなら、まずエアクリーナーやプラグ等をメンテナンスしてもう一度確認して下さい。

【ＪＭＣＡについて】

全国二輪車用品連合会（ＪＭＣＡ）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省、通産省の指導のもと不法製品の一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。
「ＪＭＣＡ認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輌検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をもクリアした製品です。

【メンテナンスについて】

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。
走行による汚れは、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。
本製品は、装着したままオイル、オイルフィルター交換が可能です。
同封のＪＭＣＡ認可カードは、走行時にご携帯下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取り付け時の不明点等がありましたらお気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。

記載内容・価格・仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。
あらかじめご了承下さい。

㈱モリワキエンジニアリング
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5
Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152
HP http://www.moriwaki.co.jp